「終わりなき図書館ジャーニー」号外

札幌「マリヤ手芸店」創業 100 周年！

このコラムで図書館以外を取り上げるのは初めてかもしれません。

札幌時計台の前にあるセイコーマートの横の道（時計台前仲通り）を入ったらすぐ左にマリヤ手芸店があります。創業 1926（大正 15）年、今年 100 周年を迎えます。このコラムを配信している北海道リージョナルリサーチ事務所のすぐ向かいにこちらの手芸店があります。

この通りはとてもユニークで個性があります。手芸だけでなくオーディオ専門店、美容室は３軒あります。特にその中でもあだち美容室（本店：宮の森店）は開業から 50 年を越えています。もちろんオーナーは現役のスタイリストです。

一体マリヤ手芸店とはどのようなお店でしょうか？手芸関連はもちろん関連出版物がとても充実しています。新刊だけを追うのではなく、あくまで店主の見聞きによる「当店に必要な本」を販売しています。それは英語やフランス語などの外国語出版物にも及びます。昔は東京青山にあったビジュアル書専門店嶋田洋書からよく仕入れていたそうですが、あいにく嶋田洋書が閉店してしまったので、洋書が仕入れにくくなったそうです。

ステンドガラス、ぬいぐるみ、人形、レースなど、いわゆる画材以外の芸術関連の道具や出版物が充実しています。

古書で複本になっているタイトルは販売します。絶版など入手困難になっているものばかり。これはマニアが見たらかなりのお宝かと。

店内を見学していると外国人旅行者が入店してきて、既に目的の物があるようで、差し出されたスマホから会長の奥さまは対応していました。
このようなお店はロンドンやパリではよく見かけましたが、あいにく日本では少ないような気がします。特に北海道ではどこにもないかと。

会長の奥さまが司書ということで収集に対する意識がとても高い。現在未公開ですが、かなりの古書が保存されています。近々公開する機会を準備しているようです。私はその秘密の書斎に侵入しました。大正から昭和にかけての書籍はもちろん、初期の雑誌『芸術新潮』なども手に取ることができました。

創業当時は道庁近くに印刷会社として創業。昭和初期には移転して、現在の建物は1983（昭和 58）年に建てられました。地下 1 階から 3 階まで４フロアで展開しています。和紙や布など用具なども揃っています。
3 階はギャラリーになっていて時計台の鐘が聞こえてきます。
今月 6 月 4 日から 16 日までギャラリーで「マリヤ手芸店創業 100 年記念展『昭和初期の札幌』」が 3 階ギャラリーで開催されます。創業者の作品をはじめ、当時使われたお店の道具なども展示されるようです。展示物がとても多いようで、途中で差し替えるかもしれませんよ。
公式 HP を添付します。是非近くにお寄りの際は立ち寄ってみてください。
https://www.mariya3.com/

2026 年５月訪問
加藤　重男